日本教育者韓国学ワークショップで訪問した

韓国学ワークショップ

新羅時代のそれぞれの都を訪

それぞれの王朝の特徴に

らも200万人近い人々が訪問300万人が訪れ、韓国か

いて学ぶとともに、

韓国の

しています。

日韓の間には

(仏国寺・海印寺・

歴史認識をめぐる相違などい

地方視察をしました。

百済・

現在、日本

日本から韓国へは年

観光科 大濵 新

間、参照

クショップに9月下旬

かったのは「板門店」

一でした。

が、集中して取り組め時間の活動ではあった。

さった。

後の課題としてご指摘下

輪崎小学校で行った。3

11月24日は新宮市立三

と、落ち着いて読めたこ

らではのユンボという建 われた。同系列の生徒な

生の建設技術系列のクラ

 $\exists$ 

川端教諭によって行

英語の研究授業は3年

限目に2年生、4限目に

質(高い方が良い)を今とを挙げて下さり、声の

指示が英語であることかれない機械の操作の上に設機械を実際に使用。慣

下平崇弘先生本校OBの保健体育科

国連軍と北朝鮮軍が向き合

月上旬にかけての2週

参加。

しました。

これまでさまざまな衝突が繰

ソウル大学校日本研究所で

韓国の経済、

ングルなどの講義を

いう現実は私にとって強烈な

「休戦中である」

後半は韓国国内の

2010日本教育者

に参加して

訪れてきました。

毎年多くの人々が交流してい くつかの障壁はありますが

クショップに参

から始まった。

どもたちと楽しく交流で 過とともに落ち着き、 智勝浦町立字久井

張していたが、

本年度は

**台窟庵・安東河回村など)** 

と教育委員会職員23人ととも

全国の中学校・高校の教員

授賞式後の記念撮影。左から岡本講師、七瀧校長、角海仁君、

南紀くろしお商工会森川会長、杉本裕貴君、西地亮君

那智勝浦町観光協会長賞を受賞した

「マグロを使ったライスピッザ」

望ましい勤労観の育成

1年生「産業社会と人間」講演会

見方によって変わりま

相手の良いところを

部員は卒業のときには6 厳しく、18人いた1年生 高校に入学した。練習は

お互い幸せ

人との距

先生にもしかられてばか

人になっていた。顧問の

らない」と話した。

たちも先輩からの激励

いと後でそのことがわか年か後のこと。今やらな

示しながら「友達の姿も ンマの話」のプリントを 絵」「ヤマアラシのジレ

がしたくて、旧新宮商業

下平先生は「サッカー

ことで今の自分があると

た。厳しい指導に耐えた

思う。高校で学んだこと

の大切さに気づくのは何

濵田志保さん生徒に語りかける

離が近すぎたら、 になります」。 見られたら、

刺さる。でも遠すぎたら

後の大会で敗退した後、 りだったが、3年生の最

に聞いていた。

グラウンドに座り込んで

第 2

•

あり、3年生フード ろ料理コンテスト:p

生フードデザイン選択生徒が「マグロを使ったライスピッザ」テスト.丽那智勝浦」の最終審査が11日、那智勝浦町商工会館での料理コンテストを通じて町の活性化を目指す第2回「生まぐ

た結果の受賞となった。

人賞したのは、

生マグロ

で那智勝浦町観光協会長賞に入賞した。

実行委員会(事務局=南紀くろし

ンカルロ君、

杉本裕貴

 $\bigcirc$ 

角海仁

瓜田バ

ライスピッザーが

で9点が選出。

料理研究

第一次審査

(書類選考)

のたたきとねぎ、

ら計8点の提案があり、ら79歳までの料理自慢か

7

ラ

たライスピッザ」

らかめに炊いたごはんを

考案した「マグロを使っ

何度も試作を重ね、 西地亮君の5

同コンテストは12歳

家の江上栄子さん=東京

=を審査委員長に招

だった。

なかなか味がよいと好評

に、望ましい勤労業社会と人間」

ましい勤労観・職と人間」の時間の「産

ンセラ

の濵田志保さん

すぎない距離を考えまし

本校スク

ハカウ

近づきすぎず、

17日

業観の育成というテーマ

科・下平崇弘先生の講話

日午後に勤務しているの

気軽に相談室を訪れ

けてくれ、

初めて泣い

がとう』と優しく声をか を引っ張ってくれてあり

本校OBの保健体育

ょう」と話し、

毎週金曜

を1年生全体で聞いた。

濵田さんは

「だまし

てほしいと話した。

# 

う料理コ

室

発行

冬の恒

》、 無 行

分にそれぞれスタ

女子は13時10

本菜奈さん優

走る距離は、

潮公園付近の港湾道路を事のマラソン大会が、黒 月22日、 して開催された。

は男女ともに40分だった。

のままゴー

いずれも

部員の生徒が引っ張りそ

プを切った。女子は陸上

した3年生がゴールテ

-スを展開

走の授業を継続していき

たいと考えている。その

、マネジャ

るように、そして楽

ムができるよう

です。

1つでも多く勝ち取れ

部員を募集していま

未経験者も大歓迎 興味のある人は、

い練習にも耐え、

に頑張っています。

くさんの方々に支えら

まで来て下され

ル部はた

顧問の榎木谷のところ 練習を一度見にくるか、 が2年生6

鍵」をモッ

ー に 厳

からも応援をよろしく れず頑張ります。これ

します。

ル部は、

「努力は勝利につなぐ

部

境があり、それに対し れていることで今の環

ての感謝の気持ちを忘

候で、

予定していた時刻

よりも少り

ものだった。大会全般を

振り返ってみて、全員制

切った顔はすがすがし

出してもおかしくない

ったが、ゴールテープを

大会新記録には及ばなか

雨がいつ降り

好きな者は少ないが、こ施した。持久走といえば

と2位岸野君(左)激しい先頭争いを繰り広げる1位谷口君(右)

もちろん教師も楽しみに

機会であるので、

来年はもう少し上の順位

たいという感想を

徒からは走ってよかった、

現在は、

ムで、

や各クラブで走り込みを の日のために体育の授業

ハもなく、

ほとんどの生

してきた成果を試す

年生が好発進を見せたが、

今までの経験をいかして

健康づくりの意味で持久 が増えてきているため、 普段運動をしない生徒

聞くことができた。 ② 豊 田

③玉石乙羽 (陸上競技部)

(陸上競技部) 2 年 1

3年5組 年4組

のチー

よくがんばった。下級生いると、先生が『3年間



練習に熱が入るバレーボール部

①山本菜奈 ③ 岡部大誠 ②岸野圭祐 者が出てきてくれたら幸 中で自ら運動に取り組む も3位まで掲載する (男子) いである。結果は男女と (女子) (サッカー部) (硬式野球部) (バドミント ン部 2年3組 3年2組 3年4組 た選手権大会では、ケ ネジャ 出場し、ベスト ギリの人数で活動して ガ人が多く3年生やマ 大会に出場できるギリ 2年生合わせて2人で

限時間内までにゴー

ルと

かなかったが、ケガ



## 英語で建設機械を操作

方が操作の指示を英語で た地元中学校の先生か 省会に参加していただい 示通りに機械を操作。 出し、もう一人がその指 教師と生徒たちとの

研究授業を実施 スの生徒を対象に11月9

素晴らしさなどの評価を ることや新しいアイデア で授業に取り組むことの 間に信頼関係ができて いただいた。

年生同系列の「実習」授なお、11月16日には2 本史」の授業で、それぞ 業、17日には2年生 研究授業が実施さ

今月14日は太地町立太

ときにすぐに声を掛けて

生女子は「教室に入った今年初めて参加の3年

取り組んでいた。

たが全員が楽しく真剣に

ら悪戦苦闘する生徒もい

初回ということもあ う着き、子 太地小学校でのよみかたりボランティアの様子 地小学校で行った。 に思う。 ラックスしてできたよう すでに3回目の交流活動 うことで、大変楽しみに たちが在学しているとい 女たちの妹、弟、いとこ生が5人いることと、彼 ということでもあり、リ ンティアの中に同校卒業 していた訪問であった。 同行して見守って下さ ボラ

> にいると楽しかった。 は元気いっぱいで、

「ボランティアに思いき

えてくれたり、とてもう

質問したらすぐに答

しかった。小学生たち

るときは真剣に聞いてく

くれたり、

本を読んで

で、選本が良かったこ育子先生は終了後の講評 という感想をくれた。って参加して良かった」 で交流活動を行い、本年古座川町立三尾川小学校 来年1 月27日 (木) に

った橋本悦子先生、

生徒はペアを組み、片

英語を使って建設機械を操作

## 高校生よみかたりボ 「今年もがんばっています!」 ランティア交流活動